

令和8年度帯状疱疹ワクチン予防接種の助成(定期・任意)について

带状疱疹ワクチンの予防接種費用について、助成いたします。

定期接種

1 対象年齢

令和8年度末日（令和9年3月31日）に下記の年齢となる方

65歳：昭和36年4月2日生～昭和37年4月1日生まれ

70歳：昭和31年4月2日生～昭和32年4月1日生まれ

75歳：昭和26年4月2日生～昭和27年4月1日生まれ

80歳：昭和21年4月2日生～昭和22年4月1日生まれ

85歳：昭和16年4月2日生～昭和17年4月1日生まれ

90歳：昭和11年4月2日生～昭和12年4月1日生まれ

95歳：昭和6年4月2日生～昭和7年4月1日生まれ

100歳：大正15年4月2日生～昭和2年4月1日生まれ

60～65歳未満でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方



2 期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日

3 助成の方法：対象者には令和8年4月中旬に「お知らせ兼受診票」をお送りします。接種を希望される方は必ず「お知らせ兼受診票」を医療機関に持参してください。

4 接種医療機関について：原則は曾於市内の指定医療機関で接種してください。ただし、鹿児島県内の曾於市外及び県外にかかりつけ医がある方、入院・入所等の方は、接種される前に必ず市役所 保健課へお問い合わせください。

任意接種

1 対象年齢：定期接種の対象者以外で、**曾於市に住所を有する50歳以上の方**

2 助成の方法：**事前申込みが必要です（電話可）**

「お知らせ兼受診票」をお送りします。**必ず事前に保健課までご連絡ください。**

3 接種医療機関について：保健課に申込みの際にご確認ください。

【注意事項】

※生ワクチンを過去に接種している方、または組換えワクチンを令和8年3月31日時点で2回接種が完了している方は、**助成の対象ではありません。**

※**令和8年度任意接種の方**で令和8年3月31日以前に、組換えワクチン（带状疱疹ワクチン）の1回目を接種され、令和8年4月1日以降に2回目を接種する場合、2回目については助成対象となりますが、**再度申請が必要**となりますので、必ず事前に保健課までご連絡ください。

※**任意接種の方**で組換えワクチンを接種した場合、1回目と2回目の**接種間隔が6か月を超えると助成の対象となりません。**（例：1回目が6/3の場合、2回目は12/2までに接種）

【ワクチンの種類について】（任意・定期）

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、組換えワクチンの2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続時間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する高い予防効果が認められています。

接種を希望される方は、（表1）の記載内容を参考にして医師と相談の上、接種するワクチンをご検討ください。

（表1）

ワクチンの種類		組換えワクチン	生ワクチン
接種回数		2回（筋肉内に接種）	1回（皮下に接種）
接種スケジュール		2か月以上の間隔を置いて2回接種 （6か月未満まで）	—
接種できない方		免疫の状態に関わらず接種可能	病気や治療によって、 免疫が低下している方
接種に注意が必要な方		筋肉内に接種するため、血小板減少症や 凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施 されている方は注意が必要です。	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた 方は治療後3か月以上、大量ガンマグロ ブリン療法を受けた方は治療後 6か月以上置いて接種してください。
効果持続 期間	接種後1年	9割以上	6割程度
	接種後5年	9割程度	4割程度
	接種後10年	7割程度	—
主な副反応		注射部位の疼痛（70%以上）、注射部位の 発赤、筋肉痛、疲労（30%以上）、 頭痛、注射部位の腫脹、悪寒、発熱、 胃腸症状（10%以上）、 掻痒感、倦怠感、その他の疼痛（1%以上）	注射部位の発赤（30%以上）、 注射部位の掻痒感、熱感、腫脹、疼痛、 硬結（10%以上）、発疹、 倦怠感（1%以上）

【助成の回数及び金額】（定期・任意）

ワクチンの種類	回数	市の助成額	
		一般	生活保護受給者
組換えワクチン	2回	1回につき 10,000円	1回につき 15,000円
生ワクチン	1回	4,000円	7,000円

※接種料金と助成額の差額分は自己負担となります。

（問合せ）

曾於市役所 保健課 健康増進係 TEL：0986-76-8806